

国際スポーツ大会等の誘致活動状況について

1 主な国際スポーツ大会の誘致・開催状況

競技レベルの高い試合等を観戦することは、観戦者に夢や感動を与えるとともにスポーツへの関心や意欲を高める。また、まちの知名度やイメージアップのほか、集客力向上等に伴う経済効果を生み、シビックプライドの醸成やまちのにぎわいづくりに繋がるため、本市では各種国際スポーツ大会の誘致・開催にも力を入れている。

年度	誘致・開催状況（令和元年度以降）
令和元年度	◇ サッカー女子日本代表「MS&AD CUP 2019」日本対南アフリカ（11月）
令和2年度	◇ サッカーU-24 日本代表「SAISON CARD CUP 2021」日本対アルゼンチン（3月）
令和3年度	◇ 2021 世界体操・新体操選手権北九州大会（10月）
令和4年度	◇ ラグビー日本代表「リポビタンDチャレンジカップ2022」日本対ウルグアイ（6月） ◇ ATTU 第31回東アジアホープス卓球大会（12月） ◇ WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州（2月）
令和5年度	◇ サッカー女子日本代表国際親善試合 日本対アルゼンチン（9月） ◇ マイナビ ツール・ド・九州2023（10月） ◇ 北九州アーバンスポーツフェスティバル2024（3月） ◇ サッカーU-23 日本代表国際親善試合 日本対ウクライナ（3月）
令和6年度	◇ ラグビー女子7人制 太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2024（4月） ◇ バレーボールネーションズリーグ2024福岡大会（6月） ◇ ラグビー女子15人制 太陽生命 JAPAN RUGBY CHALLENGE SERIES 2024 日本代表対アメリカ代表（8月） ◇ 2024 体操日本 GALA in 北九州（9月） ◇ マイナビ ツール・ド・九州2024 小倉城クリテリウム（10月） ◇ 第2回 FIG パルクール世界選手権（11月） ◇ 卓球 WTT 男女ファイナルズ福岡2024（11月）

開催日時	令和6年3月20日(祝・水) 10:50~18:00
会 場	リバーウォーク北九州ミスティックコート
主 催	北九州市 (協力:Kitakyushu DANCE 協会)
実施種目	ダンスバトル、BMX、ストリートバスケット
来場者数	1,200 名

【概要】

「WDSF ブレイキン・フォー・ゴールド・ワールドシリーズ」の開催1周年を迎えることを記念し、ブレイキンを含めたアーバンスポーツの競技会や体験会等を実施した。

【本市の取組み】

小・中学校及び市内市民センターなどにチラシを配布した。また、ラジオでの開催 PR、スペシャルゲストの EXPG 学院によるテレビ出演等で情報発信を行った。



ダンスバトル



BMX



ストリートバスケット

サッカーU-23 日本代表国際親善試合

開催日時	令和6年3月25日(月) 19時15分キックオフ
会 場	ミクニワールドスタジアム北九州
主 催	公益財団法人日本サッカー協会 (本市は後援)
対 戦 国	U-23 ウクライナ代表
試合結果	U-23 日本代表 2-0 U-23 ウクライナ代表
入場者数	11,756 名(チケット完売)

【本市の取組み】

小倉駅を中心とした都市装飾やライトアップ、各区での PR 動画放映、SNS での情報発信、当日のブース出展(下記参照)等、機運醸成や情報発信を行った。

3月8日(金)には、U-23 日本代表大岩剛監督が本市を来訪し、副市長と面会した。



U-23 日本代表大岩剛監督
による副市長表敬



試合当日、両国代表への応援メッセージ記入コーナーを設置し、多くの来場者に参加してもらった。試合後、国旗は両チームに贈呈した。



開催日時	令和6年4月6日(土)、7日(日)
会 場	ミクニワールドスタジアム北九州
主 催	公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
出場チーム	ながとブルーエンジェルス、ナナイロプリズム福岡 他10チーム
来場者数	2,858名

【概要】

女子7人制ラグビーの国内トップを競う大会で、国内で開かれる4大会のうちの第1戦。1日目はプール戦、2日目は順位決定トーナメントが行われ、ながとブルーエンジェルス(山口県長門市)が優勝した。

【本市の取組み】

小倉駅新幹線口のバナー広告や、市政だよりの掲載、小・中学校及び市民センターへのポスター・チラシの配布などによる広報活動を行った。



前日会見



優勝チーム

バレーボールネーションズリーグ2024福岡大会

開催日時	男子 令和6年6月 4日(火)～ 9日(日) 女子 令和6年6月11日(火)～16日(日)
会 場	西日本総合展示場新館
主 催	国際バレーボール連盟(FIVE)、VNL2024福岡大会組織委員会
参 加 国	日本代表含む男女8ヶ国ずつ

【SDGs・エコの取組み】

大会関係者、スタッフ、ボランティアの弁当を廃止し、会場周辺の飲食店で利用できる「ミールクーポン(食事券)」を配布し、廃棄ゼロに取り組む。また、応援でおなじみの「ステイックバルーン」を回収し、CO²の排出量を抑えたリサイクルにも取り組む。



アミュプラザ内「等身大パネル」

ウェールズラグビー協会レガシー協定締結4周年記念展示

令和2年2月22日のウェールズラグビー協会とのレガシー協定締結から4周年を迎えるにあたり、記念展示を実施した。

- ①日 時 令和6年2月21日(水)～3月15日(金)
- ②場 所 市役所1階
- ③内 容 RWC2019 ウェールズ代表チームキャンプ時の記念品や、交流等を紹介するパネルを展示



2021 世界新体操選手権レガシー事業「新体操フェスティバル 2024in 北九州」

(1) 目的

2021 年世界新体操選手権レガシー事業として実施(令和5年度に続き2回目)。地域の子どもの演技発表の場や、元日本代表選手による一流の演技に触れる場を創出する。

(2) 概要

- ①日 時 令和6年5月3日(祝) 10時00分～16時00分
- ②会 場 北九州市立総合体育館(八幡東区八王寺町4番1号)
- ③主 催 北九州市体操協会
- ④共 催 北九州市
- ⑤来場者数 約550人
- ⑥次 第

【第1部】10時00分～11時30分「チーム発表会～みんなで楽しい新体操～」

【第2部】12時00分～13時00分「大人向け新体操教室～健康づくりに新体操～」

【第3部】13時15分～16時00分「元新体操日本代表・穴久保璃子さんによる指導～憧れの新体操に触れよう～」



「世界体操・新体操選手権レガシー映像」放映 元日本代表 穴久保璃子さん、大塚月愛選手による演技披露、レッスン

2021 世界体操選手権レガシー事業「ゲストティーチャープロジェクト」

(1) 目的

2021 年世界体操選手権レガシー事業として実施(令和5年度に続き2年度目)。世界体操の感動を未来に繋げるものとして、子どもたちがよりスポーツに親しみを持てるきっかけをつくる。

(2) 概要

世界体操選手権開催時に「ドラえもんプロジェクト」で逆上がり補助機を寄付された小学校のうち(高見小学校、若松中央小学校)に特別講師を招き、子どもたちに鉄棒の特別授業を実施する。

- ① 実施回数 令和6年5月から令和7年2月の間に、4～5回実施
- ② 特別講師 初回および最終回には、スポーツ大使の内村航平さんが特別授業を実施



鉄棒逆上りを指導する内村航平さんと自由が丘高校 体操競技部 松浦監督、九州共立大学生及びOB

今後の国際スポーツ大会等について

1. 2024 体操日本 GALA in 北九州

- 2024 パリオリンピック競技大会の終了後、日本代表選手らによる、全国からの応援への感謝、競技の普及、選手の価値向上などを趣旨としたイベント。
- 北九州市では2012年のロンドン大会後の報告演技会以来、12年ぶりの開催。

開催日時	令和6年9月29日(日)
会場	北九州市立総合体育館
主催	公益財団法人日本体操協会 (JGA)
実施種目	体操競技、新体操、トランポリン

2. マイナビ ツール・ド・九州2024 小倉城クリテリウム

- 昨年度に引き続き、2年連続のクリテリウム開催。
- 小倉城をバックに選手たちが駆け抜ける様子が絵になり、選手・大会関係者から非常に高い評価をいただき、開催の依頼を受けた。
- 前回は小倉城周回1.79kmのコースを25周(約45km)。観客は約1万6千人。

開催日時	令和6年10月11日(金)
会場	小倉城周回
主催	ツール・ド・九州2024 実行委員会、一般社団法人ツール・ド・九州
参加選手数	15ヶ国から101人(予定)

3. 第2回 FIG パルクール世界選手権

- 第1回の東京開催に次ぎ、西日本初の世界大会開催。
- 体操関連競技における世界選手権三種目(2021世界体操、2021世界新体操、2024世界パルクール)の開催は世界で4都市目。

開催日時	令和6年11月15日(金)~17日(日)
会場	勝山公園内特設会場
主催	国際体操連盟 (FIG)、公益財団法人日本体操協会 (JGA)
実施種目	スピード(男子・女子)、フリースタイル(男子・女子)

4. 卓球 WTT男女ファイナルズ福岡 2024

- 男女世界ランキングトップ16名とダブルス8組が年間王座をかけて争うシーズンファイナル。
- 九州初開催。男女同時開催は日本初。

開催日時	令和6年11月20日(水)~24日(日)
会場	北九州市立総合体育館
主催	WTT (World Table Tennis)
実施種目	男子シングルス、男子ダブルス、女子シングルス、女子ダブルス